

# 病害虫発生予察指導情報

(ネギ：べと病 NO.1)

令和元年6月14日  
鳥取県病害虫防除所

## 1 情報の内容

6月13日現在、一部の地域でネギべと病の発生量が増加しています。今後の気象条件によっては発病が増加する恐れがありますので、防除を徹底しましょう。

## 2 情報の根拠

- (1) 本年のネギべと病は、平年と比べて平年並～やや少ない発生量で推移していたが、6月第2半旬以降の気象経過により、一部の地域で発生量が増加している。また、発生地域では、発生量が多いほ場も認められる。
- (2) 本病は、15～20 程度で降雨が続くと発病に好適な条件となる。高温条件により病勢は停滞するが、今後の気象条件によっては、発生量が増加する恐れがある。また、この時期に病原菌密度が高まると、秋期の多発要因になるため、防除を徹底する必要がある。

## 3 防除上注意すべき事項

- (1) 発病後の蔓延は早いので発病前からの防除に努める。
- (2) 予防散布には、アリエッティ水和剤800倍液、ジマンダイセン水和剤600倍液、ランマンフロアブル2,000倍液、リドミルゴールドMZ1,000倍液などを使用する。
- (3) 発病を認めたら直ちに、アミスター20フロアブル2,000倍液、フォリオゴールド1,000倍液、プロポーズ顆粒水和剤1,000倍液、メジャーフロアブル2,000倍液、レーバスフロアブル2,000倍液などを散布する。
- (4) 同一有効成分及び同系統の有効成分を含む薬剤は連用しない。また、有効成分ごとの総使用回数及び収穫前日数に注意して薬剤を選定する(表1、表2)。

表1 ネギベと病の主な防除薬剤（令和元年6月14日現在の農薬登録内容）

RAC コード*	薬剤名	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用回数	有効成分	
F:11	アミスター20フロアブル	2000倍	収穫3日前まで	4回以内	アゾキシストロピン	
F:P07	アリエッティ水和剤	800倍	収穫3日前まで	3回以内	ホセチル	
F:M03	ジマンダイセン水和剤	600倍	収穫14日前まで	3回以内	マンゼブ	
F:4 F:M05	フォリオゴールド	800～ 1000倍	収穫14日前まで	3回以内	メタラキシルM	TPN
F:40 F:M05	プロポーズ顆粒水和剤	1000倍	収穫14日前まで	3回以内	ベンチアバリカルブイソプロピル ピル	TPN
F:11	メジャーフロアブル	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ピコキシストロピン	
F:21	ランマンフロアブル	2000倍	収穫3日前まで	4回以内	シアゾファミド	
F:4 F:M03	リドミルゴールドMZ	1000倍	収穫30日前まで	3回以内	メタラキシルM	マンゼブ
F:40	レーバスフロアブル	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	マンジプロパミド	

\*農薬の作用機構分類、同じ番号は同一系統であることを示す。

表2 有効成分ごとの総使用回数（令和元年6月14日現在の農薬登録内容）

有効成分名	総使用回数
アゾキシストロピン	5回以内(粒剤は1回以内、水和剤は4回以内)
シアゾファミド	4回以内
TPN	4回以内(土壌灌注は1回以内、散布は3回以内)
ベンチアバリカルブイソプロピル	3回以内
ピコキシストロピン	3回以内
ホセチル	3回以内
マンジプロパミド	2回以内
マンゼブ	3回以内
メタラキシルM	5回以内(種子への処理は1回以内、土壌混和は1回以内、散布は3回以内)